

私立大学研究ブランディング事業

平成29年度の進捗状況

学校法人番号	281031	学校法人名	玉田学園		
大学名	神戸常盤大学				
事業名	地域子育てプラットフォームの構築を通じたAll-Winプラン				
申請タイプ	タイプA	支援期間	5年	収容定員	950名
参画組織	保健科学部（医療検査学科、看護学科）、教育学部、短期大学部口腔保健学科、地域交流センター、KTU研究開発推進センター				
事業概要	<p>本事業は、子どもの成長を核とするまちづくりを行うものである。神戸市長田区を対象に「子育て支援」について、本学の専門性を駆使してその解決策を講じ、地域のソーシャルキャピタルを発掘、強化し、本学と地域が一体となった『地域子育てプラットフォーム』を組織する。本学はその一員として教育・保健医療の機能をもった『子育て総合支援施設』での取組みを広報することで「地域と歩みを共にする大学」というブランド醸成を図る。</p>				
①事業目的	<p>本事業は子どもの成長を核とするまちづくりを地域と協働して行うものである。そこでは具体的に、以下の3つの目的を果たし、“地域と歩みを共にする大学”のブランドイメージを学外に広く発信し、その定着を図る。</p> <p>(1) 市内とりわけ長田区及び隣接区において、長田区内で運営する『子育て総合支援施設』を主な活動場所としながら、地域の子どもたちの成長を支え続けられる組織体制『地域子育てプラットフォーム』の構築を図る。</p> <p>(2) 本学が持てる教育・保健医療の専門力を駆使して、地域が抱える子育て支援をめぐる課題の全貌、及び地域に潜在するソーシャルキャピタルの発掘、強化に取り組む。</p> <p>(3) 「地域子育てプラットフォーム」を通して取り込まれる一連の方策が果たす効果、とりわけ貧困家庭にある子どもたちの成長に対する効果を、本学が有する研究力を駆使して、包括的に検証する。</p>				
②29年度の実施目標及び実施計画	<p>「地域子育てプラットフォーム」の組織体制を整備した上で、神戸市長田区を中心とした地域子育てに関する研究を開始する。また、子育て総合支援施設を核とした臨床的地域研究のあり方について検討を行い、研究成果を地域社会へと還元するシステムを構築する。具体的には以下の5つを行う。</p> <p>(1) 神戸市長田区における子育て及びその支援に関する研究 教育と保健医療の観点を中心に、保護者や教育・医療・行政機関でのフィールド調査を通して、神戸市長田区における子育て及びその支援に関する現状と課題を明らかにする。また、「地域子育てプラットフォーム」を拠点とした地域研究のあり方を検討し、地域研究によって大学と地域がともに活性化する研究体制を構築する。</p> <p>(2) 研究成果の公表・還元 本事業の取り組みと研究成果を、地域の方々をはじめ広く社会全体と共有するため、公開講座等を開催する。また、研究成果の共有を通して、子どもの成長を核とするまちづくりを大学と地域が協働して行うためのシステムを構築する。</p> <p>(3) 総合的な子育て支援アクションプランの策定 研究活動を通して明らかとなった子育て支援に関する課題をふまえ、本事業において実施する総合的な子育て支援のアクションプランを策定するとともに、次年度以降に行う子育て支援の取り組みに関する具体的施策を企画・立案し、それをHP等において広く社会に周知する。</p> <p>(4) 履修証明プログラム「子育て支援士」の構築 長田区が有する潜在的な子育て支援の力を発掘・活用するため、履修証明プログラム「子育て支援士」を構築するとともに、「地域子育てプラットフォーム」に参画する地域の方々を対象に次年度以降の履修者募集を開始する。</p> <p>(5) 「子育て総合支援施設」における総合的な子育て支援サービスの立案 新たに開設する「子育て総合支援施設」において次年度から試行的に提供する総合的な子育て支援サービスのあり方を検討し、その内容と具体的実施方法を決定した上で周知を図る。</p>				

<p>③29年度の事業成果</p>	<p>(1) 神戸市長田区における子育て及びその支援に関する研究 a) 神戸市長田区における子育て及びその支援に関する現状と課題について、①子育て世代の孤立化が進んでいること、②商店街等が有していた地域の子育て支援機能が弱まっていること、③支援が必要な世帯にこそ支援が届きにくいこと、④子育て支援以前に生活そのものへの支援が必要な世帯が比較的多いこと、⑤子育て支援に関して行政と民間の支援が分離していること等が明らかとなった。 b) 上記の研究で明らかとなった子育て及びその支援に関する現状と課題をふまえ、「子育てニーズと支援のマッチング」「潜在的な子育てニーズの発掘」「新たな子育てニーズの開発」をテーマに、11件の子育て及びその支援に関する研究を開始した。 c) 地域研究によって大学と地域がともに活性化する研究体制として、「大学発案地域研究」と「地域発案地域研究」という2つの地域研究のあり方を整備し、「地域子育てプラットホーム」を拠点とした地域研究の体制を構築した。</p> <p>(2) 研究成果の公表・還元 地域の方々や関係機関の方々を対象に、12月～3月にかけて合計11回、神戸市長田区をはじめとした地域における子育て及びその支援に関する現状と課題、並びに子育てへの総合的な支援のあり方について研究成果報告・意見交換会を開催した。さらに、研究成果の共有を通して子どもの成長を核とするまちづくりを大学と地域が協働して行うために、長田区との連携システムを整備した。</p> <p>(3) 総合的な子育て支援アクションプランの策定 5年間を見通した総合的な子育て支援のアクションプランを策定した。また、策定されたアクションプランに基づき、子育て支援の取り組みに関する具体的施策をとりまとめ、HP等において公開した。</p> <p>(4) 履修証明プログラム「子育て支援士」の構築 履修証明プログラム「子育て支援士」の検討を行い、プログラムの基盤を整備した。ただし、文部科学省において履修証明プログラムの規定改正が検討されているため、具体的なプログラムの構築及び履修者の募集は次年度以降に行うこととした。</p> <p>(5) 「子育て総合支援施設」における総合的な子育て支援サービスの立案 「子育て総合支援施設」において提供する総合的な子育て支援サービスの内容と具体的実施方法を決定し、チラシやHP等を活用して保護者や関係機関に周知を図った。</p>																					
<p>④29年度の自己点検・評価及び外部評価の結果</p>	<p>(自己点検・評価)</p> <p>(1) 神戸市長田区における子育て及びその支援に関する研究 【実施目標・計画を上回る成果が達成されている】— 地域の子育て及びその支援に関する現状と課題を明らかとするだけでなく、それに基づく新たな研究を11件開始しており、実施目標・計画を上回る成果が達成されている。</p> <p>(2) 研究成果の公表・還元 【実施目標・計画を上回る成果が達成されている】— ステイクホルダー等との間で11回の研究成果報告・意見交換会を開催しており、実施目標・計画を上回る成果が達成されている。</p> <p>(3) 総合的な子育て支援アクションプランの策定 【実施目標・計画をおおむね達成している】— 5年間を見通したアクションプランの策定及びその具体的施策を明らかにしており、実施目標・計画をおおむね達成している。</p> <p>(4) 履修証明プログラム「子育て支援士」の構築 【実施目標・計画をやや下回る成果となっている】— 履修証明プログラムの策定及び履修者の募集にまで至っておらず、実施目標・計画をやや下回る成果となっている。ただし、本成果の遅れは社会の動向に対応するためのものであり、次年度以降の履修証明プログラムの構築にむけた対応策である。</p> <p>(5) 「子育て総合支援施設」における総合的な子育て支援サービスの立案 【実施目標・計画をおおむね達成している】— 「子育て総合支援施設」の具体的サービス内容と実施方法を決定・周知しているため、実施目標・計画をおおむね達成している。</p> <p>以上、一部の計画において遅れが見られるものの、事業全般においては子どもの成長を核とするまちづくりを地域と協働して行うための体制が十分に構築されており、次年度以降の大きな成果が期待できるため、本事業における今年度の実施目標・計画は十分に達成されたと言える。</p> <p>(外部評価) 本事業は地域貢献を重視してきたこれまでの神戸常盤大学の特色をさらに強める効果的な事業として評価できる。また、研究成果をたんに社会へと還元するものとしてではなく、大学と地域がともに活性化するためのツールとして位置づけている点も高く評価することができる。次年度以降は、①長田区の多文化性にも配慮した研究を展開すること、②研究と「子育て総合支援施設」の有機的なつながりをシステムとして保障すること等を参考に、本事業をより効果的にすすめていただきたい。 以上、平成29年度の成果は実施目標・計画を十分に達成しているものと評価できる。</p>																					
<p>⑤29年度の補助金の使用状況</p>	<table border="1" data-bbox="344 1823 1450 2083"> <thead> <tr> <th>経費区分</th> <th>施設整備費</th> <th>研究設備整備費</th> <th>研究推進費</th> <th>広報・普及費</th> <th>その他 (人件費・借損料)</th> <th>総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本業支出総額</td> <td>27,200</td> <td>26,400</td> <td>4,070</td> <td>4,130</td> <td>1,200</td> <td>63,000</td> </tr> <tr> <td>うち、私立大学等経常費補助 (特別補助)</td> <td>—</td> <td>25,600</td> <td>4,070</td> <td>4,130</td> <td>1,200</td> <td>35,000</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <p>本事業に関わる経費は定期的に監査を受け、適切な執行・管理を行っている。</p>	経費区分	施設整備費	研究設備整備費	研究推進費	広報・普及費	その他 (人件費・借損料)	総額	本業支出総額	27,200	26,400	4,070	4,130	1,200	63,000	うち、私立大学等経常費補助 (特別補助)	—	25,600	4,070	4,130	1,200	35,000
経費区分	施設整備費	研究設備整備費	研究推進費	広報・普及費	その他 (人件費・借損料)	総額																
本業支出総額	27,200	26,400	4,070	4,130	1,200	63,000																
うち、私立大学等経常費補助 (特別補助)	—	25,600	4,070	4,130	1,200	35,000																